

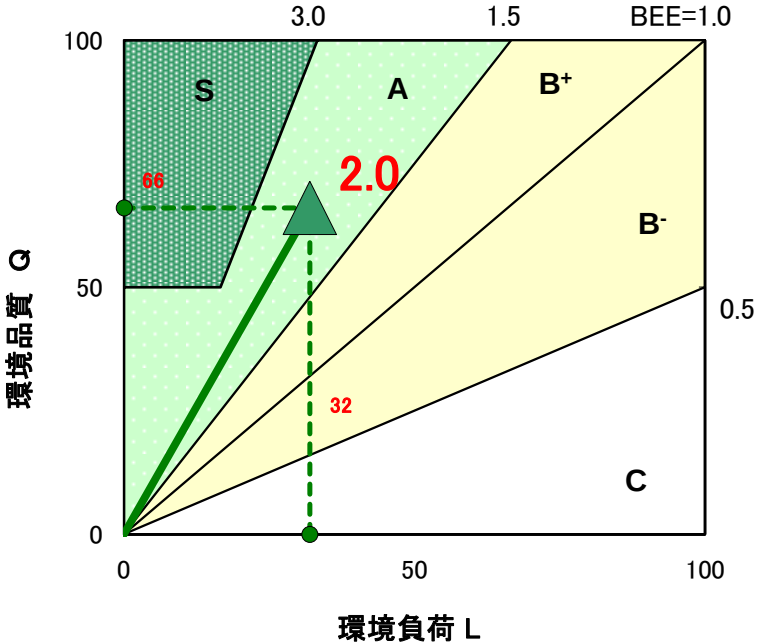
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	熊本都市計画桜町地区第一種市街	階数	地上15階、地下1階		
建設地	熊本県熊本市	構造	S造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	20,833 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	物販店,集会所,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2016年12月10日		
敷地面積	30,267 m ²	作成者	株式会社日建設計		
建築面積	27,013 m ²	確認日			
延床面積	160,326 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)





■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



BEE = 2.0

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

排出率

82%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



92

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】 循環型社会の実現

評価点

93.4

85.0

97.5

89.2

■ 熊本県重点評価基準

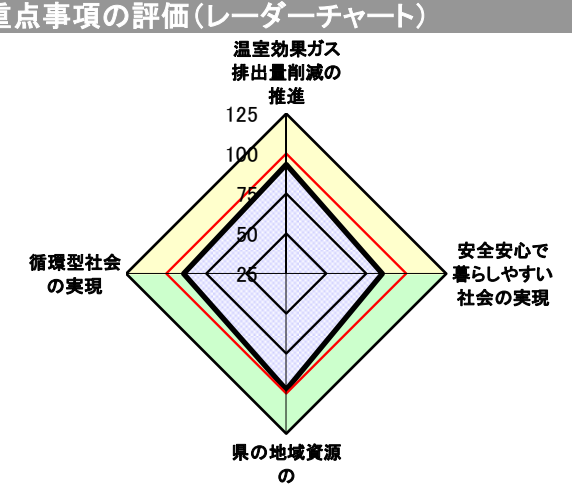
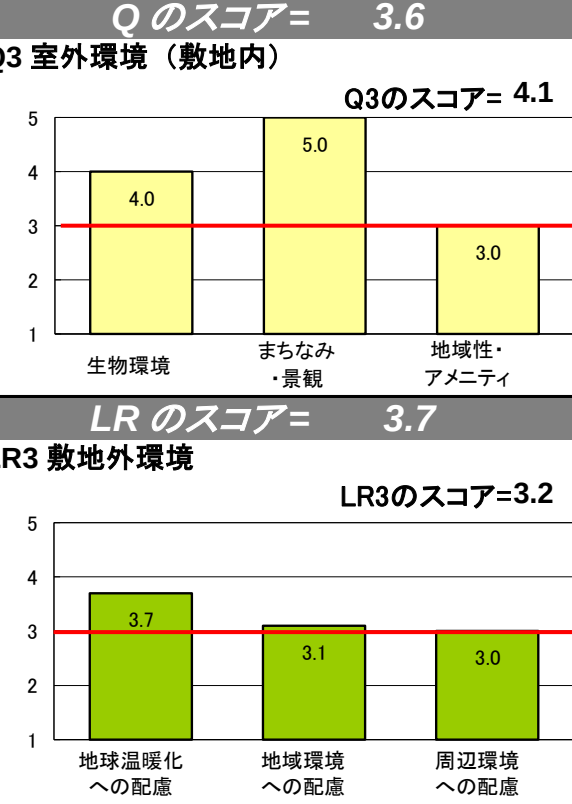
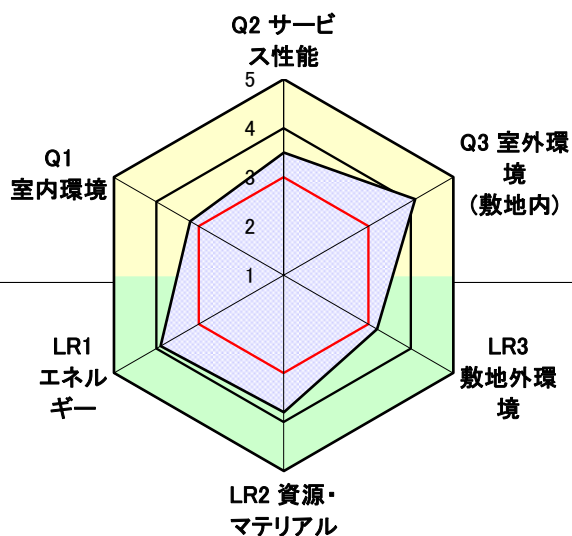
判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

Page : 1/6

Sheet : 1/5

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)



2/6

CASBEE-建築(新築)2014年版			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版			
熊本都市計画桜町地区第一種市街地再開発事業			■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート			実施設計段階			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.6
Q1 室内環境			0.36		-	3.2
1 音環境		2.6	0.17	3.2	1.00	2.7
1.1 騒音		3.0	0.41	3.0	0.47	
1.2 遮音		3.0	0.41	3.6	0.47	
1 開口部遮音性能		3.0	0.83	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.17	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.00	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.00	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.18	3.0	0.07	
2 温熱環境		3.1	0.37	3.0	1.00	3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.45	3.0	0.61	
2 外皮性能		3.0	0.23	3.0	0.39	
3 ゾーン別制御性		4.0	0.32	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.6	0.19	3.0	1.00	2.7
3.1 昼光利用		2.1	0.38	3.0	0.30	
1 昼光率		1.0	0.43	3.0	0.53	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.20	
3 昼光利用設備		3.0	0.57	3.0	0.27	
3.2 グレア対策		3.0	0.22	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.11	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.30	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.2	0.27	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.51	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.8	0.31	3.0	0.38	
1 換気量		4.0	0.43	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	0.14	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		4.0	0.43	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.18	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.47	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.53	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.6	0.40	3.6	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.1	0.40	3.8	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	0.13	3.0	0.18	
2 高度情報通信設備対応		4.0	0.13	4.0	0.82	
3 バリアフリー計画		3.0	0.74	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.5	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	0.21	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.19	-	-	
3 内装計画		4.0	0.60	4.0	0.50	
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30	-	-	3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.50	-	-	
1 耐震性		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		4.2	0.20		-	-		
	2	給排水・衛生設備		4.3	0.20					
	3	電気設備		5.0	0.20					
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20					
	5	通信・情報設備		3.0	0.20					
	5	通信・情報設備		5.0	0.20					
3 対応性・更新性				3.3	0.30	2.7	1.00	3.2		
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり		商業天井高さ3.0m以上、ホテル客室および住宅主要室天井高さ2.3m	3.8	0.25	2.4	0.50			
	1	階高のゆとり		5.0	0.43	2.0	0.60			
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.57	3.0	0.40			
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.25	3.0	0.50			
	3.3 設備の更新性			3.2	0.49		-		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20					
	2	給排水管の更新性		4.0	0.20					
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10					
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10					
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20					-
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-		4.1	
	1 生物環境の保全と創出			屋上緑化	4.0	0.30	-		-	4.0
	2 まちなみ・景観への配慮			東側テラス段上セットバックによる圧迫感の軽減、敷地内緑化	5.0	0.40	-		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		建物内にコンコースをとり、雨をよけて歩行可能。	3.0	0.50	-	-				
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7			
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9			
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.3	0.12	-	-	3.3			
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0			
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.84	4.7	0.55	-	-	4.7			
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.7	0.90	-	-				
		集合住宅の評価(3c)	4.8	0.10	-	-				
4 効率的運用			3.0	0.22	-	-	3.0			
		集合住宅以外の評価	3.0	0.90	-	-				
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-				
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-				
		集合住宅の評価	3.0	0.10	-	-				
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-				
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8			
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8			
1.1 節水		節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-				
		1 雨水利用システム導入の有無	4.0	0.70	-	-				
		2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-				
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0			
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			5.0	0.20	-	-				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		基礎ぐいに高炉セメントを使用	5.0	0.20	-	-				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート、ビニル床タイル(グリーン購入法)	3.0	0.20	-	-				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		鉄骨+外壁(ALC等)もしくはRCのみにて主たる部分の躯体を形成。	4.0	0.20	-	-				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2			
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-				
		1 消火剤	4.0	0.33	-	-				
		2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33	-	-				
		3 冷媒	3.0	0.33	-	-				
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2			
1 地球温暖化への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7			
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1			
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-				
		1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-				
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-				
		3 交通負荷抑制	5.0	0.25	-	-				
		4 廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.25	-	-				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0			
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-				
		1 騒音	3.0	0.33	-	-				
		2 振動	3.0	0.33	-	-				
		3 悪臭	3.0	0.33	-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-				
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-				
		2 砂塵の抑制	1.0	-	-	-				
		3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-				
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-				
		2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-				

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

様々な用途が複合する施設である。地上1階にはバスターミナルなど交通機関が計画されるため、2階と地下にコンコースを計画し人の主動線としている。建物上には、かつて付近に存在した「陽春庭」をモチーフとした屋上庭園（緑化と水盤）を計画し、歴史的な配慮を行うとともに建物外に対する環境配慮も行っている。また2～6階東側テラス上にも緑化を施すことで、緑が周囲のまちなみに連続しているような計画とする。

Q1 室内環境

複合用途による施設であるため、各施設の特徴にあった空調を行うことで効率的なエネルギー利用とし、冬季22℃（店舗は20℃）、夏季26℃の設定値を満足させる空調機器を設置して、良好な室内温湿度環境を目指す。また、外観のデザインより窓（外壁）上部に庇状に躯体を張出し、室内の光環境制御を行っている。

Q2 サービス性能

事務室等の天井高さは2.5m以上、売場の天井高さは3.0m以上とし、快適な空間を確保するとともに、商業・集会場部分については建築物移動等円滑化誘導基準を適用するなど、バリアフリーにも積極的に取り組む。また、非常用発電設備や無停電電源設備も備え、災害時にも対応できる施設及び設備計画としている。

Q3 室外環境（敷地内）

緑化基準を満たしながら、この地域にかつて存在した「陽春庭」をモチーフにした緑と水の屋上広場を計画する。また、各階に計画されたテラス上の緑地を立体的に連続させることで周囲のまちなみとの調和を図る。

LR1 エネルギー

共同住宅は、日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相当する基準を確保することに努めている。また、施設全体として長時間使用する室等の照明器具についてはLED器具を積極的に採用する計画である。

LR2 資源・マテリアル

雨水利用を採用し、雑用水・灌水に利用している。灌水には、雨水のほか井水も利用する。再生材利用の取り組みとして、基礎杭に高炉セメントを利用し、内装材においては床材などでリサイクル品の仕様を想定している。

LR3 敷地外環境

建物上部に積極的に緑化や水盤（屋上庭園）を計画し、建物外への熱的影響を軽減している。また、共同住宅部ではディスプレイを設置することで減容化し、施設全体としては分別回収容器を適宜設置する計画である。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

熊本都市計画桜町地区第一種市街地再開発事業

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		92
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				93.4	0.40	37.36
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.10			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.06			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.3	0.09			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				85	0.20	17.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	4.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				97.5	0.20	19.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	5.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	4.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				89.2	0.20	17.84
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	5.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数